

NEWS 翔

SYOU

2016.11.15
No.58
社会福祉法人「翔の会」
広報誌



「訪問看護って?」「何をしてくれるの?」

「看護師などがご自宅に伺い病気や障がいをもった人が安心安全に過ごせるようにお手伝いさせていただいています。」と簡単に答えることもできますが、具体的には医療ケア、看護ケアの提供に加えリハビリテーションを行うことや、ご家族等への介護支援や相談にも応じています。小児科、外科、内科、精神科となんでも観ますし24時間365日対応しています。

その中でも《訪問看護ステーションつばさ》の特徴は、茅ヶ崎や寒川で一番大きいステーションで14人のスタッフがいます。訪問看護認定看護師、緩和ケア認定看護師、リンパドレナージュセラピスト、在宅褥瘡管理者、理学療法士、作業療法士等、在宅の療養生活を支えるエキスパート、スペシャリストがそろっています。スタッフは学習熱心で、毎月「緩和ケア」「褥瘡」「認知症」等の講義を持ち回りで行っています。

訪問は、茅ヶ崎市や寒川町を中心に1人一日5件です。1時間を1人の利用者と向き合い、利用者の体調にあわせて看護内容を自分で判断していきますので、信頼関係も築けますし、病院とはまた違った看護ができます。とっさのときにも慌てず、冷静に対応することが求められますが、利用者から「見てもらったから安心」「頼りにしてるよ」という言葉をもらうことが、モチベーションにもつながっています。

一言メッセージ

リハビリスタッフより



つばさには、理学療法士と作業療法士あわせて4人で数も非常に充実しています。リハビリスタッフと看護師がタッグを組むことで利用者の生活全般を支えられます。リハビリ内容は利用者一人一人によって異なります。その方の価値観や人生観に寄り添いながら病気になっても障がいをもって出来ることは自分でやり続ける嬉しさを感じてもらえるように日々走り回っています。

緩和ケア認定看護師より

「緩和ケア」というと、がんと診断後、治療方法がなく最終的にたどりつくケアと考えている方もいらっしゃると思います。でも実際は診断された時から生じる体や心の辛さをやわらげるためのケアのことを言います。

つばさでは利用者と家族、一人一人の意思を大切に、その人らしく自宅で療養生活を送ることができるよう支援しています。私自身も緩和ケア認定看護師として自信をもってより良い緩和ケアをこれからも提供していきます。



湘南鬼瓦夏祭り

鬼瓦夏祭りを8月4日（木）に行いました。今年は、ご近所の方々にもお越しいただけるように鬼瓦と第2鬼瓦合同で準備をすすめてきました。鬼瓦は出店（的あて、釣りゲーム、金魚すくい）を担当し、利用者さん自らが接客を行いました。第2鬼瓦は喫茶コーナーとステージ発表を担当しました。こちらの喫茶コーナーでも、利用者さんがウエイトレス、ウエイターを体験、お客様の対応にあたりました。

またステージ発表は、フラダンス、腹話術、手品、ダンスと約1時間30分にギュッと濃縮。

ちょっとお客様が少なかったですが、みんなで楽しんだ夏祭りでした。

来年は、より多くの方々にお越しいただき、みんなが楽しめる「お祭り」を計画したいと思います。



サザンビーチフェスタ 2016



神奈川県茅ヶ崎市にあるサザンビーチちがさきという海岸で、『サザンビーチフェスタ 2016』が、7月30日（土）に開催されました。

（主催：サザンビーチフェスタ実行委員会）

『サザンビーチフェスタ 2016』のイベントの「キャンドルトワイライト」には、毎年湘南鬼瓦とちがさきの木魂（生活介護事業所）のキャンドルを使用いただいています。そのキャンドルは、利用者さんが日々作製しているものです。使用して（買い上げて）いただいた2000個のキャンドルは、利用者さんの給与になります。

浜辺に並べられた2000個のキャンドルは、太陽が沈みかけるにつれて、だんだんと明るく、浜風に揺られながら、灯され続けました。キャンドルをバックにして、多くの方が写真を取り、楽しまれていました。

湘南 地 アート どっきり!!!

第 18 回の翔の会表現展「湘南 地 アート どっきり!!!」を、茅ヶ崎市と共催で7月29日(金)～8月5日(金)に開催しました。今回はイオン茅ヶ崎中央店で多くの方の作品の展示やオリジナル製品の販売をするのに加え、翔の会の代表的なアーティスト6名の作品展示を茅ヶ崎市役所にある茅ヶ崎市市民ふれあいプラザで行いました。

毎年好評のワークショップは「どっきり!!!」のテーマにそって、びっくりするお面を作って記念撮影をする企画を行い、たくさんの笑顔の写真を残してもらうことができました。

ご来場の皆さま、ありがとうございました。



親子

ブルーベリー摘み

7月30日(土)、すっきりとした快晴の中、うーたん保育園1歳～3歳児クラスを対象に、親子ブルーベリー摘みが開催されました。当日は14組のご家族がお越し下さり、とてもにぎやかでした。空と海の畑に実った大粒のブルーベリーを見て、目を輝かせる子どもたち。大人も「祖父母のお土産に…」「ブルーベリージャムを作りたい!」と意気込んで、いざ摘み取り開始!口いっぱいブルーベリーをほおばる子、口の中でコロコロ転がし楽しむ子、子どもよりも夢中になって袋いっぱいに摘むお母さんたち。暑さで疲れたらちょっと木陰でお茶タイムをはさみつつ、和気あいあい、笑顔の絶えない素敵な時間を過ごす事が出来ました。ご協力頂きました皆様、ありがとうございました!





入道雲&水平線

第3回 納涼祭



2016年9月2日(金)、今年で3回目の納涼祭が開催されました。事前の打ち合わせでは、今年の合作は何にしようかと入道雲と水平線のスタッフで意見を出し合いました。空と海の施設が建ってから、今年でちょうど20周年ということで、今までの歴史を振り返ることにし、縦2メートル・横3メートルの大きな紙に入道雲と水平線の歴史がつづられました。当日はそれをご覧になれる方々がおり、懐かしさを感じたのではないのでしょうか。

お祭りではボランティア団体の方が太鼓や音楽、スタッフのライブを行っており、参加者は屋台にある「焼きそば」や「わたあめ」「フランクフルト」等を口に頬張りながら、楽しまれていました。ゲームコーナーでは「クレーンゲーム」「パチンコ」「射的」等、お子さんたちにも大人気で列が出来る程でした。夕方には踊りの先生を招いての盆踊り、夜には花火を行ないました。今年は花火職人の方をお願いをしたので、例年よりも豪華で綺麗なナイアガラの水を堪能することができ、夏の締めくくりとなりました。来年もより一層、良い納涼祭にしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

※入道雲、水平線は福祉総合援助施設 空と海にある入所支援事業所です。

Interview

2016 納涼祭 インタビュー

水平線利用者 K さん

Q：納涼祭どうでしたか。

A：楽しかった！

Q：何が一番楽しかったですか。

A：盆踊り。入道雲も水平線も一緒になって踊ったのが楽しかった。

Q：他にになにか良かったことはありましたか。

A：花火！綺麗だった。また来年も見たい。

水平線利用者 N さん

Q：納涼祭で一番楽しかったことはなんですか。

A：花火！自分達でやった花火大会はあれだけのすごい花火はできないから。

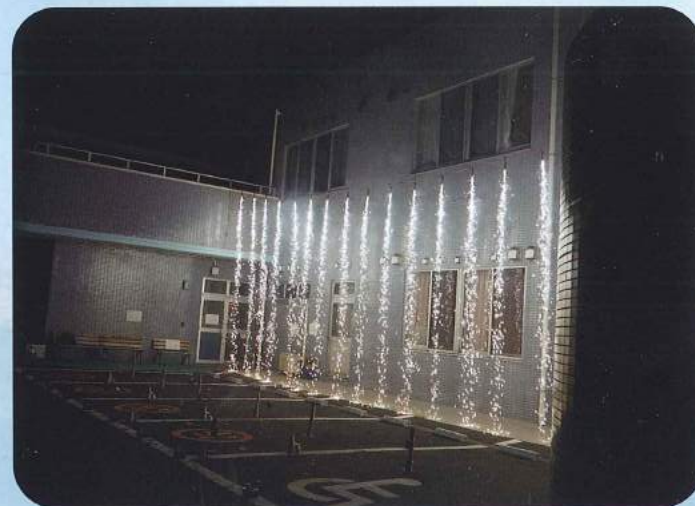
Q：他にになにか良かったことはありますか。

A：あの写真のやつ！

Q：20年史ですか？

A：そう！新しく入った人も歴史が分かるし、昔からいる人も懐かしくなると思う。メンバーの20年史も作ってほしいなあ。





入道雲利用者 K さん

Q：納涼祭はどうでしたか？

A：楽しかった！

Q：何か美味しい物は食べましたか？

A：たい焼きが美味しかったです。

Q：他に何か印象に残った事がありますか？

A：カラオケをしたのが良かったです。

入道雲利用者 A さん

Q：納涼祭はどうでしたか？

A：楽しかった！

Q：何が一番楽しかったですか？

A：盆踊りです。今年は去年と同じ大好きな白い浴衣を着られて嬉しかったです。みんなと一緒に音楽に合わせて踊るのはとても楽しいです。

Q：何か美味しい物は食べましたか？

A：焼きそばが美味しかったです。

萩園ケアセンター夏祭り

8月15日(月)～20日(土)の6日間、高齢者の通所介護事業 萩園ケアセンターでは毎年恒例の「夏祭り」を開催しました。

まずは手作りの立派な神輿をみなさんの元気な掛け声に合わせてホール内を担いで回ります。続いて盆踊り、今年は炭坑節です。「掘ってー、掘ってー、また掘って」と元気に唄い、踊りました。最後には輪投げや射的の昔懐かしい縁日のゲームが行なわれました。ゲームの最中はみなさん童心に返られ、真剣そのもので周りからは歓声あり、笑い声ありと大盛り上がりでした。

決して盛大ではありませんが、みなさんの笑顔溢れる賑やかで楽しい「夏祭り」になりました。



「ありがとう」の椅子と机

この原稿を書いている時は、夏休みも終盤にさしかかり、南側花壇で育てたミニトマトも子ども達は「美味しい！」と食べつくし、開館と同時にやって来る子ども達のエネルギーと賑やかな声で館内は熱気でムンムンしています。朝から晩まで接している職員はバテバテで、いこいの里は高齢者施設ですが、1階ふれあいロビーは子ども達のたまり場にもなっているので、ちょっと不思議な場所でもあります。そんな賑やかなロビーにステキなプレゼントがありました。それは手作りの木製の机と椅子4脚で、木肌のぬくもりも座わり心地も満点です。幼児が絵本を読む時に使えるようにと思ったのですが、幼児のみならず、小中学生からお年寄りまでこの椅子と机が大好きです。

手作り家具を趣味にしている方が、いこいの里にとプレゼントをしてくださいました。この猛暑の中を一生懸命作ってくださったお気持ちが嬉しくて大切に使いしていきたいと思っています。「ありがとう」の椅子と机です。



翔の会 実践発表会

2016年9月25日（日）第6回実践発表会をさがみ農協ビル5階大会議室にて行いました。今回は、ミルク（障害：グループホーム）・萩園ケアセンター（高齢：通所介護）から障害・高齢両方のサービスを利用する方の支援と、ゆるり（高齢：特別養護老人ホーム）で看取りを行なった方の支援の発表となりました。

スーパーバイザーには、エム心理相談オフィス所長・臨床心理士の諏訪部政好氏と東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科教授の石渡和実氏に来ていただき、それぞれの発表について講評をいただいています。

今年の実践は、二つとも高齢の方の発表となりましたが、その人にとって何が大切で、どのように支援していくかを考える一つになったかと思います。

これからも実践を通して地域みなさんと寄り添う支援を築いていきたいと思っています。



2016年度 らららライブ ご案内

2016年12月7日（水） 12:30 開演
茅ヶ崎市民文化会館小ホールにて

今年のらららライブは2016年12月7日（水） 12:30 開演
茅ヶ崎市民文化会館小ホールにて行う予定となっています。

今年は翔の会より11の事業所が参加し、ゲスト出演者も呼んで行います。

皆が表現者となり、音楽を通してそれぞれの個性を活かし、楽しみながら表現をしてくれます。

障害や年齢に関係なく、皆で楽しみながら行う「らららライブ」。

元々は支援として、地域への発信として始まったものですが、今では恒例行事となり、皆の楽しみとなっています。

今年も皆で一丸となって、音楽を楽しみたいと思います。地域の皆さまにも一緒に楽しんで頂ければと思います。

後援会より



翔の会後援会とは？

「誰もが地域で暮らせるために」の理念のもと、幅広い事業展開をしている「社会福祉法人 翔の会」の活動を支援するために生まれました。

後援会では、この主旨に賛同頂ける多くの方々が集い、イベントやバザーに参加して収益活動をしています。施設でのボランティア活動の活性にも努めています。

催し物のご報告

10月29日(土)TOTO 茅ヶ崎工場で開催された、翔の会主催の「フィエスタ翔」に出店しました。当日は雨が降るかという心配な天気でしたが、雨は降らずに無事に終わることができました。後援会のブースでは今年も古着や雑貨類など販売しましたが、65,860円を売り上げることができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

会員になるには？

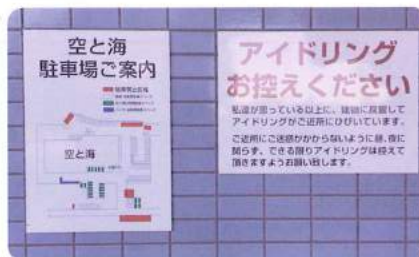
入会申込書に記入して会費の納入をお願いします。
「空と海」(茅ヶ崎市芹沢786)の後援会事務担当者に直接渡していただくか、
郵便口座(00220-2-75228)へ払い込み下さい。

個人会員(年額)	1口	3,000円	1口以上
法人会員(年額)	1口	30,000円	1口以上
利用者本人会員(年額)	1口	5,000円	1口以上
利用者家族会員(年額)	1口	5,000円	1口以上

詳しくは 後援会事務局 「空と海」 海野・湖口まで TEL:0467-54-5424 FAX:0467-54-5498

寄付のお礼

昨年11月から行なった空と海の大規模修繕の施工業者である株式会社門倉組様より、「空と海駐車場のご案内」と「アイドリングお控え下さい」の掲示板、また、「下駄箱」のご寄付を頂きました。毎日大切に使用させていただいております。厚く御礼申し上げます。



編集後記

帰省すると必ず訪れる場所があります。明治大正の面影を残した小学校の校舎を再利用して開設された「もうひとつの美術館」です。「みんながアーティスト・すべてはアート」をコンセプトに、年齢・国籍・障害の有無を越えて、まち・地域・場所やジャンルを繋ぎ創っていくアートの在り方を提案しています。私はここに訪れる度にアーティストの方々の感性の豊かさに驚かされます。そして、日本のどこかで作品を創っている彼らに思いを馳せ、「私は、利用者の内なる声に耳を傾けることができているだろうか。」と問うのです。利用者が安心して生活し、自分自身を表現できる場を、職員同士助け合いながら提供していきたいと思います。(A.N)

発行責任者／社会福祉法人「翔の会」 理事長・河内智恵子
〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢786番地
TEL.0467-54-5424(代) FAX.0467-54-5498
URL★<http://www.syonokai.jp>